

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	玄関に施錠が行われており、利用者が自ら希望した場合に外に出ることに支障をきたしている。身体拘束と捉える。	玄関の施錠は身体拘束と捉え、利用者が自ら希望した場合はその時に出られる支援を目指し、自由な生活を担保できるように工夫する。	常時の開放(施錠しない)を目指し、段階的に実施する。まずは対応可能な日中の時間帯において短時間から開放(施錠しない)する。徐々に開放(施錠しない)時間を延ばしていく。	1ヶ月
2	26	定期的な介護計画の作成と見直しは実施できているが、些細な変化にも配慮された随時の介護計画見直しが必要である。	季節の変わり目等での些細な変化にも配慮し、毎月行われているモニタリングを基に現状に即した介護計画の見直しを行う。	毎月のモニタリングや職員会議を活用し、また、変化に即時に対応できるよう毎日のミーティングにおいて計画の見直しの必要性を検討する。必要時には直ちに介護計画の見直しを行う。	直ちに
3	35	災害対策として、自主避難訓練の実施や備蓄飲食料を用意する必要がある。	職員と利用者がスムーズに避難できるように自主避難訓練の増加と災害備蓄用の飲食料を用意する。	毎月の自主避難訓練の実施を行う。災害備蓄については施設内に所定場所を定め、災害等非常時に備え用意する。	1ヶ月
4	40	食事を楽しむことができる取組の一環として、献立メニューの掲示ができていない。	献立メニューを掲示して、お知らせするとともに、職員が毎食事前に読み上げてお伝えする。	ホワイトボードを購入し、毎食の献立メニューを記入して掲示する。毎食前に読み上げてお伝えする。食事が楽しみとなるように雰囲気にも配慮する。	達成済
5	45	入浴を楽しむことができるよう、希望時の入浴の提供が求められるが、現状は利用者ごとに曜日設定を行い、決められた曜日での入浴となっている。	時間帯や希望日、個人の要望に応じた入浴の提供を行う。	定められた入浴曜日に限らず、適宜の希望を伺い、希望にお応えするよう入浴の提供を行う。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。